

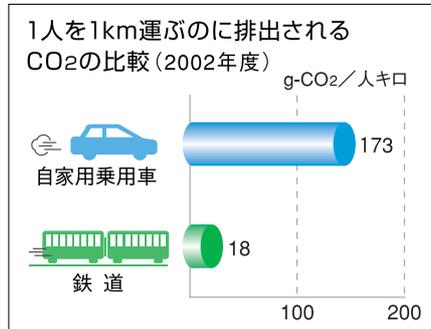
10000系車両は、主として交野線、宇治線で営業運転を行っている1900系、2600系の代替車両として平成14年に導入されたもの。今回はそれに一部改良を加えて増備しました。回生ブレーキやVVVF制御、防音車輪を備えているのはもちろん、当社の車両として初めてフラット防止装置を試験的に導入しました。フラットとは、走行によって発生する車輪踏面の摩耗のことで、これが発生すると列車走行時に騒音・振動が発生します。10000系車両では、VVVF制御器の速度信号を受信し、ブレーキを制御することで車輪の滑走によるフラットを未然に防ぐことができ、フラットの発生による騒音・振動の制御や、車輪削正回数を減らすことで資源の有効活用にも効果を発揮しています。



▲10000系車両

チーム・マイナス6%に参加

昨年発効した京都議定書において、日本は温室効果ガス排出量を6%削減することを世界に公約しました。当社はその実現に向けたプロジェクト「チーム・マイナス6%」に法人メンバーとして参加しています。下記のクールビズ・ウォームビズのほか、同プロジェクトと鉄道業界が連携した「鉄道でエコ キャンペーン」を通じて地球温暖化防止のための取り組みを実施しています。



クールビズ・ウォームビズを導入

昨年7月より、エコオフィス推進プロジェクトの一環として、夏季におけるクールビズ、冬季におけるウォームビズを本社並びに枚方、寝屋川、大津などの各事務所で実施しています。6月～9月の間、事務所内での上着・ネクタイの着用を省略するとともに、空調温度を冷房時は原則28℃、暖房時は20℃に設定することで、地球温暖化防止に取り組んでいます。

「鉄道でエコ キャンペーン」に参加

鉄道業界では国土交通省と連携して鉄道が環境にやさしい交通機関であることを広く知っていただく取り組み「鉄道でエコ キャンペーン」を実施しています。

例えば、自動車との比較においては、ひと一人を運ぶ際に発生するCO₂量は約10分の1。環境負荷の小さい鉄道を利用することが、今すぐ始められる地球温暖化防止策の一つとも言えます。

当社は、浜大津地区のパーク&ライドを通じて同キャンペーンに参加しています。このほかにも、バリアフリー設備を充実させるなど、より多くの方に鉄道をご利用いただけるよう努めています。

鉄道でエコキャンペーンとは

鉄道が環境にやさしい交通機関であることをお伝えしていくとともに、各鉄道事業者の具体的な環境への取り組みや利用促進などを通じ、実際に鉄道にふれていくことが目的でチーム・マイナス6%とも連携している取り組みです。

展開にあたり、統一標語及びキャンペーンマークを作成しました。各鉄道事業者によるキャンペーン施策の展開にあたっては、これらを活用し、鉄道関係者の一体的な取り組みとして環境にやさしい鉄道をアピールしていきます。



エコてつくん

浜大津地区パーク&ライド

全国有数の観光地である京都市と滋賀県大津市では、市内中心部などで慢性的な交通渋滞が発生しています。

そこで、京都市内方面へ向かう自動車利用者の鉄道利用を促進し、渋滞解消と合わせてCO₂排出量の抑制に貢献するため、当社では、大津市と共同で大津市浜大津地区の市営駐車場と当社大津線などを利用したパーク&ライドを実施しています。

大津線1日乗車券「湖都古都・おおつ1dayきっぷ」などを購入され、京都市内へ電車でお越しの際は、浜大津駅に隣接する大津市公共駐車場の1日駐車券を半額で発売しています。

